



松ぼっくり



学校HP <https://tainai-tsuiji-es.edumap.jp/> e-mail tsuiji-es@tainai.ed.jp

築地小HP

学び合い 認め合い 鍛え合う子

令和5年10月12日 発行

ことばから豊かな人間性が感じられる子に

校長 小川 泰文

厳しい残暑も去り、「～の秋」といわれるように、物事に集中して取り組みやすい季節になってきました。

先日は6年生が、きのと小学校、黒川小学校との合同陸上記録会を行いました。猛暑による市内5校の親善陸上大会が中止となり、急遽、計画された記録会でした。

その中で、長距離に参加した6年生の子は、夏休みの自由課題で持久走に取り組んでいました。親善陸上大会で好記録を出したいとの思いから、朝マラソンを行い、日々タイムを記録していました。酷暑と言われた夏にもかかわらず、継続した取り組みに頭が下がる思いでした。

話は変わります。「誰も傷つけない」がコンセプトのSNSがある企業からリリースされ、1日で利用者数が1万人を突破するというニュースに目が留まりました。誹謗中傷などが含まれる不適切な文章をAIが検閲した後、適切な表現に変換して投稿するSNSになっているということです。

SNS上での誹謗中傷などで「傷つけられた人」や「傷つけてしまった人」が後を絶たないことが社会問題となっています。深刻な事例も多く、こうした企業の努力により、被害者や加害者が出なくなり、苦しむ人が救われることを祈るばかりです。

同時に、心無い発言やからかい、冷やかしなどを食い止めるのを、AIに任せなければならないとしたら寂しさも感じます。AIに頼らずとも、一人一人が他者を思いやり、温かい言葉があふれる世の中に向かっていけないものかと考えるのは私だけでしょうか。

さらに言えば、言葉はその人の人格とも言えます。人間として成長するからこそ、発する言葉も重みを増し、責任ある発言をしていくものと思います。匿名であることを利用して、心無い発言が当たり前となり、その修正を全面的にAIに任せるのには抵抗があります。

自分が言ったことや書き込んだことに責任を持たなくていいのであれば、人間としての成長を止めてしまうことにならないかと。

SNSが生活には欠かせなくなっている現代、これまで以上に言葉の重みを感じます。その中で、教育の果たす役割はどうあればよいだろうか。子どもたちに伝えていかなければならないことは何か。なんとなく、見えてきそうです。

たった一言が人の心を傷つける　　たった一言が人の心を温める
肝に銘じておきたい言葉です。

ふるさとを愛し、仲間と協力してたくましく自分の道を切り拓いていく子ども

～ 築地小学校キャリア教育の取組 ～

「ふるさとを愛し、仲間と協力して、たくましく自分の道を切り拓いていく子ども」は、築地小学校・中学校コミュニティ・スクールで設定した目指す子ども像です。キャリア教育を教育課程の中核に位置付け、各教科や領域の学習と関連させながら教育活動を進めています。

このキャリア教育をとおして、**子どもたちが夢や目標をもち、仲間や地域の人たちと協力しながら自立に向けた力を身に付けるとともにふるさと築地への郷土愛を育むこと**を目指しています。地域の素材や人材活用のため、中核となる地域連携コーディネーターが、松の子パートナーズをはじめとする地域の方々や学校の教育活動をつなぐことにより、充実した活動を展開しています。その一部を紹介します。

<1年生の活動より>

1年生は、9月に胎内市昆虫の家に校外学習に行きました。地域コーディネーターから虫の名前やカマキリの持ち方を教えてもらい、いろいろな昆虫の特長を観察記録にまとめました。昆虫を通して、胎内の豊かな自然に愛着をもつことができましたようです。



<2年生の活動より>

2年生は、5月に野菜の苗植えをしました。今年、この日に築地地区の農家に出向き、植える苗を自分で選びました。畑で育てる野菜の苗がどのように栽培されているのかを知り、野菜への思い、地域の農業への思いが広がる活動となりました。



<3年生の活動より>

3年生は、築地の特産であるチューリップをテーマにした活動を展開しています。4月にチューリップフェスティバルを見学し、6月には農家の方からチューリップ栽培の秘密をたくさん教えていただき、学んだことをパンフレットにまとめました。



<4年生の活動より>

4年生は、胎内市の魅力をテーマに活動しています。チューリップフェスティバルでは、チューリップの品種の多さ、県外ナンバーの車の多さにビックリ！胎内市自然天文館の見学では、県内最大級の望遠鏡の性能にビックリ！市の花、施設などを通して、胎内市の魅力を再認識しています。



5年生は「ふるさと体験学習」、6年生は「自分と仕事」など、各学年のテーマに合わせた学習活動を行っています。

地域ボランティアやさまざまな職業の方などの人との触れ合いや、ふるさとの良さやさまざまな仕事に関する体験的な学びを継続的・発展的に行い、**子どもの未来に向けた社会的・職業的な自立と郷土愛を育みたい**と考えています。

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果のお知らせ

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」が実施されました。今年度の当校の結果の概要をお知らせいたします。

この調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上を主な目的として、小学校6年生児童を対象に行っています。令和元年度から、「知識」と「活用」を一体的に問う問題形式で実施されてきました。また、質問紙は、生活習慣や学校環境に関するものとなっています。

<教科に関する調査の結果>

平均正答率が全国と比べて大きく上回った…◎／全国と比べて上回った…○

全国と同様…ー／全国と比べて下回った…△

	国語	当校	算数	当校
領域	言葉の特徴や使い方に関する事項	△	A 数と計算	○
	情報の扱いに関する事柄	△	B 図形	ー
	A 話すこと・聞くこと	○	C 変化と関係	○
	B 書くこと	◎	D データの活用	△
	C 読むこと	○	知識・技能	ー
	知識・技能	△	思考・判断・表現	ー
	思考・判断・表現	ー		

国語・算数ともに、全国平均をやや下回る結果となりました。領域別にみても、領域によって正答率の増減があります。また、基本的な知識の定着はもちろんのこと、記述式の問題や活用問題に対しても力や身に付けた知識を活用する力を、さらに伸ばしていけるようにしていきたいと思えます。

<質問紙の意識調査の結果>

質問紙による意識調査は、59項目の設問がありました。回答結果について、全国平均との大きな差異があるものや特徴的な部分について、いくつか取り上げます。

学校だからこそできる「協働的な学び」を大切にしていきます。

肯定的回答が、全国平均を大きく上回った項目に、「国語の学習は好きですか。」「英語の学習は好きですか。」「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。」「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」がありました。これからも、多様な他者との協働的な学習や他者との話し合いを通して考えの相違、折り合いをつける学習などを大切にしていきます。

タブレットを、積極的に活用していきます。

「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強に役に立つと思いますか。」の回答は、全国平均より低い結果となりました。これは令和5年4月現在の結果であり、5月以降は、社会、理科、外国語などの教科を中心に、タブレットを積極的に使用しています。また、6学年の子どもに限らず、どの学年でも同様な傾向に見られます。これからの社会では、ICT機器の活用が進んでいきます。情報モラルや情報リテラシーについては、学校でも指導していきますが、ご家庭でも、お子さんの発達段階に応じて、指導をお願いします。

最後に

子どもたち一人一人に確かな学力を育てていくためには、学校における教育活動と家庭の協力・支援の両輪が欠かせません。今後とも、家庭と学校との連携を密にして、子どもの力をより一層伸ばせるように努めて参ります。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

9月20日～22日 保小中あいさつ運動 in 築地中

各学年、児童会の代表児童&保護者&コミュニティスクール委員の皆さんがあいさつ運動に立ち、盛り上げました！



9月30日 胎内教育の日&いじめ見逃しゼロスクール集会 in 築地中

ご参観いただき、ありがとうございました。5・6年生が参加した集会では、グループ討議、講演を通して、いじめ見逃しゼロの意識を高めました。



10月3日 6年生 築地小・きのと小・黒川小合同陸上記録会

大きな競技場で 力の限り がんばりました！



日々の学習・活動の様子を「学校ブログ」で更新中！

築地小学校ホームページをご覧ください！

<https://tainai-tsuiji-es.edumap.jp>

こちらのQRコードから→

